

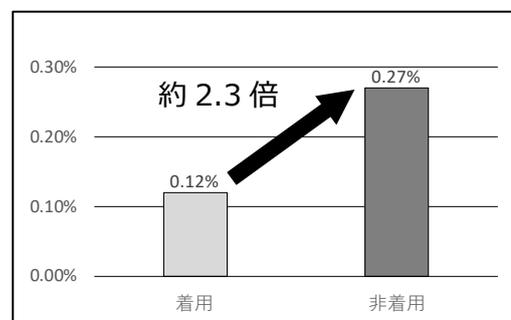
「自転車用ヘルメットの着用と安全な使用」について

■ 自転車事故

東京都内 過去 5 年間（2018～2022 年）

発生件数	死者数
66,010	141

- ・ 高齢者（65 歳以上）の事故が多い
 - ・ 「出会頭」「交差点」での事故が多い
- 警視庁データより



都内のヘルメット着用状況別の致死率
(2018 年～2022 年中)

自転車乗用中の死者の致命傷の部位は、
頭部損傷によるものが最も多い(64.5%)。

また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時に比べて約 2.3 倍高い。

■ 受傷事例

過去 5 年間（2018～2022 年）では、用途違い、サイズが合わないヘルメットを着用した事故などが発生している。

(具体例)

- ・ 野球用などの自転車用以外のヘルメットを使用した事例
- ・ ヘルメットが「自身の頭部のサイズに合っていない」又は「正しくかぶっていない」事例

救急搬送事例（東京消防庁管内）及び受診事例（医療機関ネットワーク）データより

■ 着用率

自転車乗車中のヘルメットの着用については、様々な啓発や普及促進の取組がされているものの、依然として着用率は低い。

令和 3 年：3.4% ⇒ 令和 4 年：4.1%

警視庁データより

協議会では、都民へのアンケートや検証実験等を通じて、年度内を目途に課題及び安全対策等について、提言をとりまとめていく。

- ・ アンケート：自転車乗車中の事故等やヘルメットのデザイン、着用に関する意見など
- ・ 検証実験・調査：自転車用ヘルメットの安全性、転倒時の頭部への影響、街頭での着用率

<委員等>

別紙のとおり

<傍聴のご案内>

- (1) 本会議は、会議の傍聴はオンライン（Microsoft Teams）のみといたします。なお、通信状況によって、映像の乱れや一時的な停止があることをあらかじめご了承ください。
- (2) 傍聴をご希望の場合は、9月6日（水曜日）までに、
下記【宛先】にEメールにてお申し込みください。
【宛先】S1121403@section.metro.tokyo.lg.jp 
- (3) 申込みに当たっては、件名を「【傍聴希望】東京都商品等安全対策協議会第1回」とし、本文に次の事項を記載してください。
 - 1 氏名（ふりがな）
 - 2 所属
 - 3 連絡先（電話・メールアドレス）
- (4) 取材・傍聴の可否については、9月7日（木曜日）中にご連絡します。

以上